



さくら診報

平成30年4月1日発行 第171号

「誰もが安心して長生きができる社会を目指して」

介護老人保健施設 ミレニアム桜台

施設長 飯島 節

皆さま、はじめまして。この4月1日付けで、中内やよい先生の後任として、介護老人保健施設ミレニアム桜台の施設長を拝命した飯島節と申します。ミレニアムで働けることをとても幸せに感じています。

さて、私の目標は、「誰もが安心して長生きの出来る社会をつくること」です。古今東西において健康長寿は人類の夢でした。今のわが国は、かつては皇帝でも実現できなかった長寿を、ほとんどの人が享受できる、とても幸せな世の中になりました。ところがあまりにも多くの人々が長生きをするようになった結果、長寿の有り難みが少し薄れてきているように感じます。むしろ今日では、長生きをリスクと捉えて、それにどのように備えるかなどという議論が盛んに行われています。本当は長生きをしたいのだけれど、お金の蓄えがなくなったり、病気になったり、さらに要介護状態になったりすることへの不安から、素直に長生きを願うことができないのです。そこで、これらの不安を解消するために、わが国では年金制度、健康保険制度（後期高齢者医療制度）さらに介護保険制度が設けられています。これらの制度には課題も少なくありませんが、安心して長生きをするためには欠くことのできない大切な制度であり、大切に守り育てて行かなくてはなりません。

さて、人は誰でも歳をとれば心身の機能が衰え、病気にも掛かりやすくなります。その結果、多くの高齢者が日々の生活に不自由をきたし、介護サービスを必要とするようになります。高齢者にとって、これはごく自然なことであり、誰もが経験することです。ミレニアム桜台は介護保険制度に基づいて、高齢者が必要とする介護サービスを提供する施設です。たとえ要介護状態になったとしても、いつまでも尊厳を保ち、その人らしさを失わずにいられるように介護することが目標です。人々が要介護状態になることを恐れることなく、安心して長生きが出来るように、少しでもお役に立てれば幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



